

一般質問 Q & A



学童保育所として使用する
西山口小の元給食調理場

A 今後、学童保育へのニーズはますます増え
普通教室の使用も念頭におき、今後協議する

Q 西山口をはじめ、いくつかの学童保育所では受入施設が不足している。そのため、保護者や地域の関係者が担当課と話し合いを重ね、調理室などを一時的に利用し、定員拡大を図ってきた。しかし、対処療法では限界にきている。学童保育での普通教室の使用を考えているか伺う。

学童保育での普通教室使用の考えは



公明党かけがわ
山本行男



A 平成30年度に、庁内関係課と、学校、学童保育指導員及び保護者等を交え、将来を見据えた中で、学童保育の普通教室を含む学校施設活用や活動の在り方について、検討委員会を設置し、調査・検討していきます。

検討委員会を設置し、調査・検討する

Q 検討委員会を立ち上げ、普通教室の使用を検討していくべきと思うが、考えを伺う。

検討委員会の立ち上げは

ていくことが予想されますので、普通教室の使用も考えなければなりません。使用するにあたっては、様々な考え方がありますので、十分に協議していきます。



A 市内の中高層建築物数は、年々増加傾向にあり、消防力整備指針に照らし合わせても、はしご車の配備は、必置の状況にあります。そのことから、平成32年度には、はしご車を配備し運用を開始する予定です。

平成32年度に、はしご車を配備・運用予定

Q 市内には、中高層建築物が204棟あり、はしご車配備の必要性が高まっている。市民の安全・安心を標榜するならば、はしご車の配備を急ぐべきと考えるが、見解を伺う。

早急にはしご車の配備を



創世会
藤原正光



広域避難所にある災害用マンホールトイレシステムを知らせる看板

A マンホールトイレの設置には、下流部の下水道管路や処理施設が被災していないこと、上流部に水源の確保が必要となることから、今後、仮設トイレの設置計画と合わせて検討していきます。

仮設トイレの設置計画と合わせて検討

Q 国土交通省より「マンホールトイレの整備・運用のためのガイドライン」が示され、今後、全国で整備推進が図られる。そこで、マンホールトイレの整備について、所見を伺う。

避難所のトイレ確保は強い問題意識を持って捉えるべき